

平成28年3月29日  
北陸地方整備局  
北陸信越運輸局

## 日本海・太平洋2面活用型国土の“要”

北陸の暮らしやすさに磨きをかけ、三大都市圏と連携する日本海側の対流拠点「北陸圏」の形成へ  
新たな『北陸圏広域地方計画』が決定されました

本日（3月29日）北陸圏広域地方計画が決定されましたのでお知らせします。

本計画は、昨年8月に閣議決定された「国土形成計画（全国計画）」で示された基本方針を踏まえて、北陸圏の独自の発想と戦略性に基づく北陸圏の国土の形成に関する基本的方針、目標、広域の見地から戦略的に実施すべき主要な施策を示すものです。

本計画は、国の地方支分部局、富山県、石川県、福井県及び隣接する府県等の地方公共団体、地元経済界等から構成される北陸圏広域地方計画協議会における検討を経てとりまとめられました。

◇決定日：平成28年3月29日

◇添付資料

- ・ 北陸圏広域地方計画の概要

※北陸圏広域地方計画は、北陸地方整備局ホームページにてご覧いただけます。

<http://www.hrr.mlit.go.jp/tiiki/kokudo/keikaku2.html>

### 北陸圏広域地方計画協議会長（久和 北陸経済連合会 会長）のコメント

- ・ 平成26年9月に検討に着手して以降、協議会等で議論を積み重ねてきた北陸圏広域地方計画が、本日、決定を見るに至った。
- ・ この北陸圏広域地方計画では、北陸圏が持つポテンシャルを最大限発揮し、全国的に見て暮らしやすい北陸圏に、更に磨きをかけ、より一層暮らしやすい地域を造ること、全国計画で掲げた「対流促進型国土」を実現するため、「日本海・太平洋2面活用型国土の要」としてその役割を果たして行くこと、そのために必要な交通ネットワーク基盤の整備、ならびに地域課題の解決に向けた施策の推進を盛り込んでいる。
- ・ 今後は、本計画の着実な推進に向けて、各構成機関が連携・協力しながら、圏域内の市町村や関係団体等にも本計画に対するご協力を頂き、取組施策の一層の充実や展開を図ることにより、北陸圏の将来像の着実な実現を図れるよう、適切にフォローアップして参りたい。

#### 【同時記者発表】

新潟県政記者クラブ  
新潟県政記者クラブ  
富山県政記者クラブ  
石川県政記者クラブ  
福井県政記者クラブ  
その他専門紙

#### 【問い合わせ先】

北陸圏広域地方計画協議会事務局  
（北陸圏広域地方計画推進室）  
北陸地方整備局  
企画部 広域計画課長 吉田（内線3211）  
建政部 計画・建設産業課長 荒川（内線6121）  
TEL：025-280-8880（代表）  
北陸信越運輸局  
交通政策部 交通企画課長 田村  
TEL：025-285-9151

# 北陸圏広域地方計画の概要

日本海・太平洋2面活用型国土の“要”

北陸の暮らしやすさに磨きをかけ、三大都市圏と連携する  
日本海側の対流拠点「北陸圏」の形成へ

## 1. 計画の特徴

- (1) 現行計画は平成21年8月に策定、**急激な人口減少、巨大災害の切迫とリスク対応**など、我が国土に係る大きな社会現象の変化へ対応するために見直し
- (2) 国の機関、関係府県等の地方公共団体、地元経済界等から構成される『**北陸圏広域地方計画協議会**（協議会長 久和北陸経済連合会 会長）』を組織し、構成機関が対等な立場での協議を実施
- (3) 全国計画で示された基本方針を踏まえつつ、**地方独自の発想と戦略性**に基づいて策定
- (4) **富山県、石川県、福井県の3県を計画区域**とし、2050年を展望しつつ、**今後概ね10年間**における北陸圏の国土の形成に関する基本方針を策定

## 2. 計画のポイント

- (1) 北陸圏の有する「暮らしやすさ」などの強みを活かし、人口減少・少子高齢化などの課題の克服に向けた、**地方独自の発想と戦略性**に基づいて、2つの将来像、4つの目標、12の戦略を設定
- (2) 将来像の実現に向けて、北陸圏広域地方計画協議会の構成機関を始め、関係機関等が広域的に連携・協力して推進する9つの広域連携プロジェクトを設定

### ① 将来像

- 1) 暮らしやすさに磨きをかけ更に輝く 新・北陸
- 2) 三大都市圏に近接する特性を活かし、日本海・太平洋2面活用型国土形成を牽引する 新・北陸

### ② 目標

- 1) 個性ある北陸圏の創生  
～更なる安全・安心、環境豊かな暮らしの充実、コンパクト＋ネットワーク～
- 2) 競争力のある産業の育成  
～北陸のものづくり産業や農林水産業の一層の活性化～
- 3) 日本海側の中枢圏域の形成  
～日本海沿岸地域の連携強化と太平洋側との連携強化～
- 4) 対流・交流人口の創出  
～北陸の魅力を活かした国内外との対流・交流の創出～

### ③ 広域連携プロジェクト(抜粋)

- 1) 豊かな暮らしを育む接続型都市圏形成プロジェクト  
○公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくりなどによる、重層的かつ強靱な「コンパクト＋ネットワーク」の形成
- 2) 東アジアに展開する日本海中枢圏域形成プロジェクト  
○医薬、繊維等の地域産業を牽引する産業クラスターの形成などによる、競争力のある産業の育成と日本海側中枢圏域の形成
- 3) 高速交通基盤を活かした北陸観光交流圏形成プロジェクト  
○広域観光ルートの構築などによる、高速交通基盤を活かした北陸観光交流圏形成

# 『広域地方計画』と『地方ブロックにおける社会資本整備重点計画』の関係

- 『広域地方計画』は、対流促進型国土の形成に向けて、各広域ブロックの将来像や地域戦略等について示すもの。
- 『地方ブロックにおける社会資本整備重点計画(地方重点計画)』は、『広域地方計画』と調和を図り、各地方においてストック効果の最大化に向けた取組など、社会資本整備の重点事項等について示すもの。

	広域地方計画 ～長期的な広域ブロックづくりの指針～	地方重点計画 ～地方ブロックにおける社会資本整備の具体的計画～
目的	新たな国土形成計画(全国計画)が目指す『対流促進型国土』の形成に向けて、広域ブロックにおける <u>国土の利用、整備及び保全を推進するための総合的かつ基本的な計画</u> として定めるもの。	社会資本整備重点計画に基づき、各地方の特性に応じて社会資本を重点的、効率的、効果的に整備するため、広域地方計画と調和を図り、地方ブロックにおける <u>社会資本整備の具体的な計画</u> として定めるもの。
計画の対象	<u>国土の利用、整備及び保全に関する</u> 府省にまたがる <u>施策全般</u>	道路、空港、港湾、下水道、河川等の <u>社会資本整備事業</u>
計画期間	今後 <u>概ね10年間</u>	<u>H32年度までの約5年間</u>
対象地域	<u>全国8ブロック</u> (北陸圏は富山・石川・福井の3県) (東北圏は、新潟県を含む7県)	広域地方計画の8ブロックに <u>北海道と沖縄を加えた全国10ブロック</u> (北陸ブロックは、新潟、富山、石川、福井の4県に雪国である共通の気候風土や日本海沿岸との結びつきの強い山形、福島、長野、岐阜の一部を加えた8県)
根拠法等	国土形成計画法	社会資本整備重点計画(閣議決定)
計画に盛込む内容(案)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○国土の形成に関する方針</li> <li>○国土の形成に関する目標</li> <li>○目標を達成するために一の都府県の区域を超える広域の見地から必要と認められる主要な施策(広域プロジェクト)</li> <li>◇<u>ハード・ソフト一体となった施策パッケージ</u></li> <li>◇<u>広域プロジェクトを支える必要不可欠な広域性のある事業の中から代表的な事業を記載</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○<u>現状と主要課題</u></li> <li>○<u>目指すべき将来の姿と社会資本整備の基本戦略</u></li> <li>○<u>社会資本整備の重点目標とプロジェクト</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇プロジェクト毎に「課題と目指す姿」「重点施策」「指標」「主要取組」を一連のストーリーとしてとりまとめ</li> <li>◇「安全安心」「生活」「成長」について、選択と集中の徹底を図ると共に、「賢く使う取組」「集約・再編」事業を重点取組として記載</li> <li>◇取組の時間軸を明確化し、ストック効果を見える化</li> </ul> </li> </ul>



# 隣接圏域との交流・連携プロジェクト

## 北陸圏・中部圏連携プロジェクト

### (1) まるっと北陸・中部 観光魅力増進プロジェクト

◇「昇龍道プロジェクト」等を通じた、多様なニーズに応じた魅力あふれる広域観光ルートの整備による外国人観光客誘客促進

北陸中部9県の知名度向上及びインバウンド推進を官民挙げて実施



中国の旅行会社を招聘し、兼六園を視察  
台北で開催された旅行博に出展し、昇龍道の魅力を紹介  
【出典】中部運輸局

### (2) 広域物流ネットワーク (日本海～太平洋)構築プロジェクト

◇広域物流ネットワークを支える基盤整備  
◇広域物流ネットワークの利用促進

日本海と太平洋に跨る広域のエリアで、戦略的に広域交通ネットワークを構築



【出典】東海北陸自動車道 (中部縦貫自動車道)

### (3) 環白山・環北アルプス 広域エコゾープロジェクト

◇野生生物の生息環境や生態系の保護・管理を推進



ライチョウの保護増殖 ツキノワグマ 広域保護管理  
【出典】第一期ライチョウ保護増殖事業実施計画(環境省長野自然環境事務所)



国立公園をはじめとする山岳地帯における高山植物や希少な野生動物の保護

### (4) 隣接圏域との産学官連携による新産業拠点形成プロジェクト

◇地域を越えた研究開発・プロジェクトの組成に向けた、産産・産学のマッチング

**北陸圏**

- 繊維産業・新素材産業の技術蓄積
- 炭素繊維複合材料の研究開発・生産
- 炭素繊維からブリフレグを生産

【写真提供】東し 日本クラファイトファイバー

**東海圏**

- 自動車・航空機メーカーの集積
- 炭素繊維複合材料の研究加工・組立

【出典】トヨタ自動車HP 三菱航空機

### (5) 広域防災・災害応援ネットワークプロジェクト

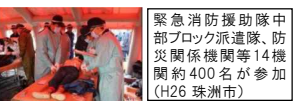
◇防災ネットワークの構築

▼ドクターヘリ共同運航事業(富山県、岐阜県)



【出典】岐阜県HP

▼緊急消防援助隊中部ブロック合同訓練の実施



【出典】石川県HP

### 日本海沿岸地域の連携推進プロジェクト

◇日本海国土軸の経済発展を支える広域交通網の充実  
◇ユーラシアへのゲートウェイ機能の強化  
◇エネルギー受入・供給拠点やネットワーク機能の強化

### 広域防災・観光に向けた隣接圏域との連携プロジェクト

◇広域観光ルートの構築  
◇広域連携による降積雪対策の強化

▼北陸飛騨3つ星街道誘客推進協議会の取組



【出典】北陸飛騨3つ星街道誘客推進協議会HP

沿線市町村等が連携してPR

## 計画の推進

北陸の関係機関や多様な主体が相互に連携し、以下の4つのサイクルを循環させながら、本計画の実現に取り組んでまいります。

- ①広域連携プロジェクトの推進
  - (1)「重要推進施策」の推進
  - (2)広域連携プロジェクトを支える各種取組
- ②推進状況のとりまとめ
  - ・モニタリング指標、実施状況の把握・とりまとめ
- ③推進状況の評価・公表
  - ・重要推進施策の実施状況や、各構成機関が取り組む主な取組施策の推進状況の把握と原因分析
- ④措置
  - ・重要推進施策等の実現・発展に向けた課題検討
  - ・新たな重要推進施策立案に向けた調査・検討

北陸圏広域地方計画は、経済団体・地方公共団体・国の地方支分部局で構成される「北陸圏広域地方計画協議会」での協議を踏まえ策定しました。

### 【北陸圏広域地方計画協議会 構成機関】

- <地方公共団体>
  - 富山県 石川県 福井県 新潟県 長野県 岐阜県 滋賀県 京都府
  - 富山県市長会 石川県市長会 福井県市長会 富山県町村会 石川県町長会 福井県町村会
- <経済団体>
  - 北陸経済連合会
  - 富山県商工会議所連合会 石川県商工会議所連合会 福井県商工会議所連合会
- <国の地方行政機関>
  - 警察庁(中部管区警察局) 総務省(北陸総合通信局) 財務省(北陸財務局)
  - 厚生労働省(東海北陸厚生局・近畿厚生局) 農林水産省(北陸農政局・中部森林管理局・近畿中国森林管理局) 経済産業省(中部経済産業局・近畿経済産業局)
  - 国土交通省(北陸地方整備局・中部地方整備局・近畿地方整備局・北陸信越運輸局・中部運輸局・大阪航空局・第八管区海上保安本部・第九管区海上保安本部)
  - 環境省(中部地方環境事務所)

## 北陸圏広域地方計画推進室

(国土交通省 北陸地方整備局・北陸信越運輸局)

〒950-8801 新潟県新潟市中央区美咲町1-1-1 (北陸地方整備局企画部広域計画課内)

北陸圏広域地方計画ホームページ <http://www.hrr.mlit.go.jp/tiiki/kokudo/index.html>

TEL: 025-280-8880 (代表) E-mail: [hokuriku-localplan@hrr.mlit.go.jp](mailto:hokuriku-localplan@hrr.mlit.go.jp)

(平成28年3月 作成)



# 新たな「北陸圏広域地方計画」概要

## ～日本海・太平洋2面活用型国土の“要”～

### 北陸圏の将来像

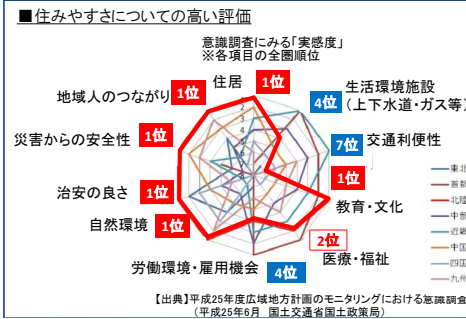
暮らしやすさに磨きをかけ更に輝く 新・北陸

三大都市圏に近接する特性を活かし、日本海・太平洋2面活用型国土形成を牽引する 新・北陸

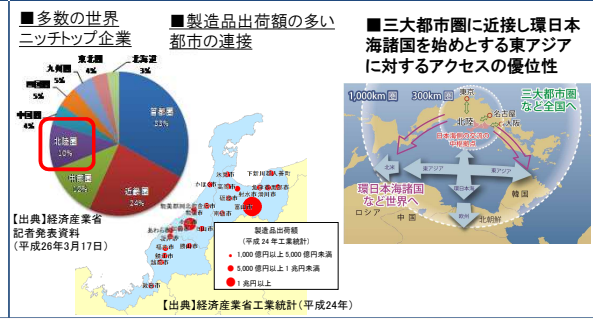


## 北陸圏の特徴(強み)

◇豊かな自然に囲まれ、居住環境や暮らしやすさは全国でも高い水準を誇ります。



◇日本海側に世界レベルの工業や産業が集積し、三大都市圏や東アジアへのアクセスに優れています。



## 北陸圏の課題

- (1) 子育てしながら共働きできるライフスタイルの維持・向上
- (2) 少子化の進展及び若い世代の人口流出に歯止めをかける、雇用環境の充実
- (3) 厳しい自然環境の中でも安全・安心で快適な生活レベルの維持・向上
- (4) 接続する都市群と半島や中山間地の共生
- (5) 地理的優位性と北陸ブランド力を生かした産業・営農の強化
- (6) 太平洋側の災害リスクの高まりに伴う本社機能移転などへの積極的な対応
- (7) 優れた観光資源を活かした、国内外誘致のための取組

北陸圏の将来像を実現するための4つの目標と12の戦略の達成を効率的に推進するとともに、早期かつ相乗的に達成効果を発現、波及させていくため、北陸圏広域地方計画協議会の構成機関等が広域的に連携・協力して以下の9つのプロジェクトに取り組みます。

**将来像** **目標** **12の戦略** **9つの広域連携プロジェクト**

**目標1** **個性ある北陸圏の創生**

暮らしやすさに磨きをかけ更に輝く

新北陸

- (1)親との近居や地域コミュニティを維持するとともに、子育て支援や女性就業、生活サービス支援等誰もが暮らしやすい生活環境の充実
- (2)本社・研究機能等も含めた働きやすく魅力ある雇用環境や高等教育環境の充実
- (3)多様性と集約性のある都市サービス拠点のコンパクト化と交通ネットワーク充実による持続可能で多様な居住選択機会の提供及び人口誘致
- (4)風水害・土砂災害等のほか、地震・津波も含めた更なる災害リスク低減に向けたソフト・ハード一体の防災・減災対策の強化や居住環境の充実
- (5)豊かな自然環境の保全と地球環境問題への対応

**目標2** **競争力のある産業の育成**

三大都市圏に近接する特性を活かし、日本海・太平洋2面活用型国土形成を牽引する新・北陸

- (1)集積する同業種・異業種や高等教育機関の接続都市間での対流と交通・ICTネットワーク環境の充実
- (2)太平洋側及び海外企業等の製造拠点・本社・研究開発・研修機能の誘致推進に向けた支援施策や環日本海諸国等海外や国内他地域との経済連携・立地ニーズに応えるPR強化
- (3)圏域の食料供給力と地域ブランド力の更なる強化

**目標3** **日本海側の中枢圏域の形成**

- (1)市場となる大都市圏との取引や物流等を支える、更なる時間距離の短縮や生産拠点等誘致に向けた信頼性の高い国際物流・旅客機能の強化
- (2)太平洋側の防災面に加え産業等機能においても代替性を発揮する防災・産業拠点及びネットワークの強化

**目標4** **対流・交流人口の創出**

- (1)多様な産業、歴史・景観・食文化等に彩られた地域資源の磨き上げと北陸圏内観光周遊ルートの充実
- (2)北陸新幹線の開業、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とし、さらにはリニア中央新幹線の開業を見据えた首都圏や欧米豪、アジアの新興国等の国内外観光客誘客促進と魅力の発信


**1. 豊かな暮らしを育む連接型都市圏形成プロジェクト**

美しい自然と豊かな農山漁村に囲まれた個性ある都市圏の暮らしの質を高め、北陸新幹線の開業も契機として、連接型都市圏を形成します。

**◇住環境や子育て環境にも恵まれた個性的でコンパクトな都市圏の形成による暮らしの質の向上**

▼富山市のコンパクトなまちづくりの推進

LRT等を公共交通(車)とし、その軸上に都市拠点(団子)を配置する都市構造の構築



【写真提供】富山市

- ◇個性ある都市圏の連携を強化するネットワークの形成
- ◇公共施設の計画的な管理
- ◇近接する都市圏相互の魅力を受容することのできる連接型都市圏の形成


**2. いきいきふるさと・農山漁村活性化プロジェクト**

農山漁村で安心して暮らせる環境づくりと、都市と農山漁村との交流拡大を通じた農山漁村地域の経済を活性化します。

**◇農山漁村の活性化**

▼能登の里山里海

世界農業遺産認定(平成23年6月)をきっかけに能登半島全体の魅力発信の場としてポータルサイトを立ち上げ



【出典】世界農業遺産「能登の里山里海」情報ポータルサイト

**◇都市と農山漁村の地域間交流と連携の促進による地域経済の活性化**

▼農林漁業体験民宿を核とした取組



【出典】北陸農政局

**3. 防災技術・地域コミュニティを活かした北陸防災力強化プロジェクト**

北陸圏が抱える厳しい自然条件や、地球温暖化にともなう気候変動、異常気象の増加等の災害要因に対する防災力を強化します。

**◇防災技術の蓄積を活かした災害に強い地域づくり**

▼海岸侵食対策(下新川海岸)

富山湾特有の「寄り回り波」による災害から人命・財産を守り、海岸侵食を防止



【出典】富山県HP

**◇地域コミュニティを活かした地域防災体制の強化**

▼自主防災組織主体の避難所運営訓練

防災訓練として、自主防災組織が中心となった避難所運営



【出典】石川県HP


**4. 北陸の多彩な自然環境保全プロジェクト**

北陸圏のシンボルである立山・黒部や白山等の豊かな自然環境や豊富な水を育む水源かん養機能の保全と、北陸の美しい白砂青松の海岸環境を次世代へ継承します。

**◇立山・黒部や白山等山岳地域の自然環境保全**

▼富山県:立山・黒部地域の環境保全

国立公園内の美観保持、健全なリクリエーションの場としての維持のため、清掃活動やパトロール、登山道整備や植生保護等を実施



【出典】富山県HP

**◇日本海沿岸地域の環境保全**

▼千里浜再生プロジェクト

土砂投入・砂流し防止工・人工リーフ等による砂浜の保全



【出典】石川県HP


**5. 北陸発エネルギー技術・環境技術拠点形成プロジェクト**

原子力及びエネルギー分野の最先端技術の集積を活かして、エネルギー技術と環境技術の集積拠点を形成します。

**◇先端的研究の推進**

(若狭湾エネルギー研究センター)

国、自治体、大学、産業界一体となったエネルギーの総合的な研究開発拠点を形成



【出典】若狭湾エネルギー研究センターHP

**◇間伐材や林地残材等のベレット加工によるバイオマスエネルギー等の普及促進**

木質ペレット製造施設



【出典】富山市HP

**6. 東アジアに展開する日本海中枢圏域形成プロジェクト**

地理的な優位性と日本海沿岸有数のものづくり集積を活かして、日本海側の産業・物流の中核拠点機能を強化します。

**◇日本海沿岸地域有数のものづくり集積を活かした産業の国際競争力の強化**

(医療機器等の開発)

X線透過型開創器

脳神経外科用はさみ



【写真提供】(株)シヤルマン

**◇三大都市圏との近接性を活かし、環日本海諸国に展開する国際物流機能の強化と企業誘致の一体的な推進**

▼国際物流ターミナル等の機能強化(金沢港大野地区)



**7. 食料供給力増強・食の北陸ブランド展開プロジェクト**

良好な営農条件の確保による圏域の食料供給力の強化と、高品質な「北陸ブランド」の構築を推進します。

**◇食料供給力の強化**

▼農地の整備による生産性の向上(福井平野)



【出典】福井県HP

**◇「北陸ブランド」構築と国内外への流通・販路網の開拓・拡充**

▼農業6次化の事例(ハトムギ)

がんの予防効果や美肌効果が見込める「ハトムギエキス」を開発するなど「はとむぎ茶」の商品化・ブランド化を推進



【出典】JA水見市 水見はとむぎ物語HP

**8. 強靱な国土づくりに貢献する広域的な防災体制構築プロジェクト**

平常時は広域連携、災害時は復旧復興支援に向けて広域的な防災支援対策を推進します。

**▼TEC-FORCEの派遣**

大規模自然災害発生時、地方自治体の要請で、災害応急対策に対する技術的な支援を実施



**▼高規格幹線道路網の充実**

災害時の緊急輸送ネットワークの一翼を担う高規格幹線道路の整備を推進



(東海北陸自動車道)

**9. 高速交通基盤を活かした北陸観光交流圏形成プロジェクト**

北陸圏の優れた地域資源及び北陸新幹線等により充実する広域・高速交通ネットワークを最大限活用し、国内外観光客の増加により地域を活性化します。

**◇地域の連携強化による満足度の高い魅力ある観光地域づくり**

▼石川県都市公園の整備(金沢城公園)



【出典】石川県HP

▼若狭の社寺建造物群と文化的景観



【出典】小浜市HP

**◇国内外観光客の戦略的な誘客拡大**

▼伏木富山港伏木地区クルーズ船



【出典】富山県HP